

IV mein 型の冠詞

・「私の(本, 父, 家…)」, 「彼の(本, 父, 家…)」のように名詞の前につけて所有を表す冠詞を「**所有冠詞**」と言います。

- ・今の段階では, **mein**「私の」と **dein**「君の」だけを紹介します。
- ・こうした所有冠詞と, 英語の **no** にほぼ相当する **kein**「ひとつも～ない」は, 不定冠詞に準じて変化します。なので, Nominativ (1 格)では, 男性・中性で **mein/dein/kein**, 女性(と複数)で **meine/deine/keine** となります。
- ・語尾変化が不定冠詞とすっかり対応していることを確認しましょう。

- Da ist ein Hund. Ist das **dein** Hund? あそこに犬(*der Hund*)が 1 匹いるね。君の犬?
- ◆ Ja, das ist **mein** Hund. そう, 僕の犬だよ。
- Ist das **deine** Katze? あそこにネコ(*die Katze*)がいるね。君のネコ?
- ◆ Nein, das ist **keine** Katze. いや, あれはネコじゃないよ。
- Was? Was ist das denn? なんだった? いったい何なんだ?
- ◆ Ein Meerschweinchen. [メーア・シュヴァインヒェン] ハムスター(*das Meerschweinchen*)だよ。

練習 次の文章を音読してみよう。意味を取ってみよう。(訳は裏にあります。)

Hallo, ich heie Sazae. Das ist meine Familie.

Das ist mein Vater Namihei. Er ist Angestellter. Er trinkt abends gern Sake.

Und das ist meine Mutter Fune. Sie ist Hausfrau. Sie ist sehr freundlich.

Das ist mein Bruder Katsuo. Er ist noch Schler. Er spielt sehr gern Baseball.

Hier ist meine Schwester Wakame. Sie ist auch Schlerin.

Und das ist mein Mann Masuo. Er arbeitet bei Umiyama-Shoji.

Das ist mein Sohn Tarao. Er ist noch drei Jahre alt.



語句: die Familie [ファミリーエ]: 家族 ist < sein: ~である der Vater: 父 Angestellter [アンゲシュテルター]: サラリーマン trinken: 飲む abends: 夜に gern: 好んで der Sake: 日本酒 die Hausfrau: 主婦 freundlich: やさしい der Bruder: 兄/弟 der Schler: 生徒 spielen: (球技を)する die Schwester: 姉/妹 auch: ~もまた die Schlerin: 女子生徒 der Mann: 男性 (mein と限定すると「夫」の意味に) der Sohn: 息子 noch: まだ drei Jahre alt: 3歳の

意味: こんにちは、私はサザエです。これが私の家族です。これが私の父の波平です。彼はサラリーマンです。夜にお酒を飲むのが好きです。そしてこれが私の母のフネです。主婦です。とてもやさしいです。これは私の弟のカツオです。まだ生徒です。野球をするのが好きです。これが私の妹のワカメです。彼女も生徒です。そしてこれが私の夫のマスオです。海山商事で仕事をしています。これは私の息子のタラオです。まだ3歳です。

コラム ein と mein では...

○ „Da ist ein Mann.“は、「そこにひとりの男性がいます。」という意味です。まさに不定冠詞が「ひとつの、ある」という意味で使われている場合です。

しかし、サザエさんがマスオさんを紹介していた場合のように、„Da ist mein Mann.“と言うと、「そこに私の夫がいます。」という意味になります。mein が Mann の意味を「夫」に限定してしまうのです。

○ 同様に、„Da ist eine Frau.“は、「そこにひとりの女性がいます。」の意味ですが、„Da ist meine Frau“は「そこに私の妻がいます。」という意味です。

○ このように所有冠詞がつくことで意味が変わるのは、ちょっと特殊な例です。この ein/mein Mann と eine/meine Frau のほか、知っておいてほしいのは次の例です。

○ ein Freund は「ひとりの(男性の)友人」で、mein Freund は、女性が言えば「私のカレシ」です。同性が使うと「一番の友だち」というニュアンスになります。同じように、eine Freundin も「ひとりの(女性の)友人」で、meine Freundin は、「僕のカノジョ」、「一番の友だち」というニュアンスで使います。

ちなみに、ステディではない「友だちのひとり」と言いたいときは、ein Freund von mir / eine Freundin von mir (von mir は英語の *of me* に相当)と表現します。

○ 同じ「女性」を表す名詞でも、die Dame (複数形: Damen)は、meine Damen と言えば、「ご婦人がた、淑女の皆さま」という意味で使えます。英語の "*Ladies and gentlemen!*" にあたるのが、„Meine Damen und Herren!“です。

でも、Frau の複数形 Frauen で× meine Frauen と言っちゃうと、「私の奥様方」というとんでもない意味になりますので、注意しましょう!! ヤハバは、昔むかし、これを間違えて大笑いされたことがあります…。